

佐保小学校区説明会での質疑応答、意見等要旨（令和5年1月27日）

教育について	回答
1 統廃合によってクラスあたりの人数が増えることが、保護者としては不安である。統廃合によって、教職員の人数も増えるとのことだが、鼓阪小学校の教職員がそのまま佐保小学校に来てくれるということか。	毎年度人事異動があり、統廃合をする年度も例外ではないが、一定程度は鼓阪小学校のことを知る教員が引き継ぐことを想定している。教員は学級数によって配置数が決まり、特別支援学級や専科教員、統合後の教育を充実させるための加配などもある。様々な年代や、特技、教科の特性を持つ教員を配置していきたい。
2 これまでと同様、一人一人の生徒に対してのきめ細やかに教育していただけるなら、統合には賛成できる。統合して一学級の人数が増えるため、全員を一人一人、細部まで見ていただけるのが少し不安である。	学校経営、学級経営という視点から担任自身がしっかり一人一人を見ることができるよう育成していく。
3 この地域は子どもたちが自由に行き来するには危険な道路が多く、交流の妨げとなっている。佐保の子も鼓阪の子も両方の地域に愛着を持ち、両地域の人に見守られながら育つよう、子どもが行き来しやすいまちづくりという観点も検討してほしい。	佐保小学校も鼓阪小学校も歴史のある学校であり、それぞれ地域に対する愛着や、歴史、文化、伝統があるため、子どもたちの学びの中にしっかり取り入れ、両校の交流を図りたい。
4 統合のメリットとして示されている教科担任制は、統合のタイミングで導入するのか。	統合のタイミングで開始するというより、佐保小学校の教育をさらに充実させる選択肢が増えると考えていただけたらと思う。

通学について	回答
1 鼓阪地区から佐保小学校への通学路となる一条通りには、横断歩道やグリーンベルトの新設だけでは解消しきれない根本的な危険性があると思う。開校までにどのように対処するのか。	車の通行量や子どもたちの今住んでいるところからのルートは、改めて検討する必要がある。地域の方の生活道路にもなっているため、通行規制、一方通行、ゾーン30等を進めていく上では、調整が必要である。また、道路を管轄している県の担当や、警察、地域の方にも参画いただき、通学路交通安全プログラムの中で通学路の安全を担保していきたい。
2 鼓阪地区から佐保小学校の通学が遠距離となるため、夏には熱中症等の危険もあると思う。スクールバスを手配することは考えているのか。また、バスを運行する場合の費用負担についてはどのように考えているのか。	スクールバスの運行については、地域の公共交通機関等の運行状況や利用する児童の人数等を踏まえて総合的に判断する必要があると考えている。鼓阪地区、佐保地区では路線バスが運行されているので、通学路が片道2キロ以上で、バスを利用して通学する児童については、遠距離通学費助成制度を利用していただくように考えている。
3 遠方から通学する児童に対する登下校指導はしっかりしていただけるのか。	登下校の指導については見守り活動として、引き続き、自治会、地域教育協議会、指導協議会にご協力いただけるようお願いしていきたい。校区が広くなることにより、通学経路も複数に亘り、見守りや横断歩道の指導が必要などところも当然出てくるので、通学路を決める時に地域の方にも入っていただき、どのような形で指導が可能か併せて進めていきたい。

その他	回答
1 鼓阪北小学校の小規模校のデメリットはどのように解消されるのか。	鼓阪北小学校も小規模ではあるが、隣接するHOP青山と連携した不登校支援を考えており、存続させていきたい。
2 校舎の建て替えの段取りについて、現時点でのイメージを教えてください。	現在確定しているものではないが、教育環境への影響を少なくスムーズに工事できるのはグラウンド側に建てることであると考えている。現在の案としては、グラウンド側に新しい校舎と体育館を建設した後、既存の校舎を解体し、北側をグラウンドにしていきたいと考えている。
3 小中一貫校として開校することはもうないのか。	若草中学校の敷地が手狭であることと、北側の法面が土砂災害警戒区域に指定されていることから、施設一体型の小中一貫校という案は断念した。施設一体型ではないとしても、他のすべての中学校区と同様、同じ中学校区というつながりを持った、中学生と小学生の学びを引き続き進めていく。
4 現在、鼓阪地区では反対の署名活動等を地域の方がされていると聞かすが、どのように対応していく予定なのか。なくなってしまう学校側の地域にも納得していただき、皆が気持ちよく学校活動や地域活動に参加してもらいたい。	署名活動など反対のご意見については真摯に受け止め、説明をしていきたい。令和9年度の児童数の推計を踏まえ、統廃合を進めていくべきだと教育委員会としては考えているので、納得いただけるよう丁寧に説明を繰り返していきたいと考えている。
5 統廃合後の学校の名称は佐保小学校のままなのか。鼓阪という名称は消えてしまうのか。	新しい学校の名称はまだ決定している事項ではないが、教育委員会としては、継続して使用する学校の名称とするという方針である。継続して使用する学校は佐保であるので、佐保小学校の名称を提示していきたい。

意見・要望	
1	一条通りは歩道が狭く凹凸もあり、危険である。鼓阪地区からの通学が増える今回のタイミングで、少しでも子どもが安全に通えるようぜひ検討してほしい。